

競 技 注 意 事 項

1 本大会は2025年度(一財)愛知陸上競技協会「小学生友の会ルール」で行う。

2 アスリートビブス(ナンバーカード)について

- (1) プログラム記載のものをユニホームの胸、背に確実につける。
- (2) トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を必ず競技者係から受け取る。ランニングパンツの右横やや後方に、明確に数字が読めるようにつける。リレーは、第4走者(アンカー)がつける。フィニッシュ後、直ちに回収係に返却する。

3 レーン・試技順について

- (1) トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- (2) 欠場者のレーンはあける。

4 招集について

- (1) 招集所は、競技場内100mスタート後方に設ける。
- (2) 招集所へは**100mスタート側大門から入場する。**(メインスタンドから直接の移動禁止)
- (3) 招集の受付は本人(代理人は認めない)が行い、時間に遅れた者は出場を認めない。招集指導は引率者の引率で行う。リレーは4人が揃って招集を受ける。2種目以上の参加者は、競技と招集が重なりそうな場合は、競技者係に申し出て、先に招集を行う。
- (4) 招集時間は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	招集開始時間	招集完了時間
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	40分前	30分前

- (6) リレーオーダー用紙は、8:30までに招集所へ提出する。オーダー用紙は招集所に準備する。
(愛知陸協HPの小学生友の会ページでダウンロードも可能)
- (7) 選手の誘導は各団体の引率者が行う。
引率者は種目を兼ねる選手の試技及びトラック種目の進行状況を確認し、選手を誘導すること。

5 ウォーミングアップについて

- (1) できる限り集団でのアップはせず、事故等の起こらない様に引率者が付き添って行う。
- (2) 競技開始前については、8時30分以降(練習開始アナウンス後)～9時15分まで利用できる。ハードル練習はリレー終了後、メインスタンドに準備されたものを役員の指示により行う。ハードル練習には必ず引率者が付き添い行う。
- (3) 競技開始後は、競技に支障がない範囲で行ってよいが、逆走は禁止とする。また、競技中の選手に助言となる様な行為、応援、撮影は禁止する。
- (4) 競技場外は、公園利用者の迷惑とならない様に注意して行う。

6 競技について(友の会ルール)

- (1) スターターの合図は英語「On your marks」「Set」(1500mは「On your marks」で行い、不正スタートは、一人が2回で失格とする。スタートの方法は、400m以下の種目についてはクラウチングスタートとする。(スターティングブロックは使用しなくてもよい。)3年生以下50mは、スタンディングスタートとする。(スターティングブロックは使用不可)

(2) 混合リレーのオーダーは、男女各 2 名で編成し、走順は自由とする。

(3) **80mハードルの規格**

学年	台数	高さ	スタート～第1ハードル	ハードル間	最終ハードル～フィニッシュ
5・6年生	9台	0.70m	13m	7m	11m
4年生	9台	0.60m	13m	7m	11m

(4) フィールド種目の競技開始前の練習は、審判員の指示によって行う。

(5) ジャベリックボール投げは、規定の投げ方(にぎり持ち)で、助走距離は15m以内、試技は1人3回とし、すべて計測する。

(6) 走幅跳の試技は1人3回とし、すべて計測する。

(7) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。3回連続失敗した時点で終了とする。バーの上げ方は、下記のとおりとする。

※最初に跳ぶ高さの申請をする。

学年	練習	1	2	3	4	5	6	7	
4年生	80cm又は	85cm	90cm	95cm	1m00	1m05	1m10	1m15	以後 5cm
5年生	1m05	—	—	—	—	1m05	1m10	1m15	
6年生	選択	—	—	—	—	—	—	1m15	

(8) 本大会において、愛知県小学生陸上競技選手権大会（10月18日）の参加資格記録を突破した者は、大会への参加資格を得られる。参加を希望する場合は、愛知陸協ホームページを参照し、参加申し込みをすること。

7 競技用器具について

(1) 競技に使用する器具(スターティングブロック・バトン・ハードル)は、主催者が用意したものを使用する。

(2) ジャベボール（ニシスポーツ NT5201）は出場者一人につき1個持参し使用する。

(3) リレー・走幅跳の助走に使用するマークは主催者が用意する。走高跳・ジャベリックボール投げの助走に使用するマークは2個までとし、選手が持参する。

8 団体受付について

(1) 団体受付は、本部室内に設ける。但し、早朝のみ本部室外で団体受付を行う。

(2) 大会中の落とし物は団体受付で対応する。

9 競技場内及びスタンド入退場・待機について

(1) 選手、引率者、保護者がスタンドに入場出来る。（競技場内は選手と指導者のみ）

(2) スタンドのチーム場所は、全団体が入れるように配慮する。

(3) スタンドでは必ず座って観戦する。特に最前列通路前の柵に立っての応援・撮影は禁止する。

(4) メインスタンドは出入口(左右2か所)を利用、バックスタンドはゴール側大門とする。

メインスタンドから直接バックスタンドやバックストレートへの移動は禁止する。

(5) バックスタンド及び競技場内へは、ゴール側大門とし、門付近では立ち止まらないこと。

10 その他

(1) トラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分のレーン（曲走路）を走り、減速し止まる。

(2) リレーの第1・第2・第3の各走者は、バトンを渡した後も他のレーン（チーム）の走者が、全員通過し競技役員の指示があるまで自分のレーンにとどまること。他のチームの妨害にならないよう注意する。

- (3) プログラムの氏名・所属等の間違いがあれば、チームの責任者が団体受付時に申し出る。
- (4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
- (5) 貴重品類は各自で保管する。万一の事故があっても責任は負わない。盗難に注意すること。
- (6) 各団体の待機場所で子供達が遊び回って騒ぐことのない様に指導する。
- (7) ゴミは必ず持ち帰ること。競技場に設置してあるゴミ箱は封鎖する。

